【設計・施工管理はオリコンサルグローバルJV コートジボワール穀物バースが着工】

コートジボワール 穀物バースが着工

設計・施工管理はオリ
コンサルグローバルJV

オリエンタルコンサルタ
ンツグローバルは、コート
ジボワールの物流拠点とな
っているアビジャン自治港
の穀物バース建設事業が着
工したと29日発表した。経
済成長による貨物需要の増
加する中、同国や周辺地域
に安定した食糧供給を行う
ため、新たに穀物用バース
を整備。バース整備で同社
を幹事会社とするJVが詳
細設計と施工監理を担当す
る。2021年9月の事業
完了を予定している。

穀物バースの建設工事

は、有償資金協力を活用し
た政府開発援助（ODA）
案件としてアビジャン港湾
公社が発注。西アフリカ最
大の物流拠点となる同港に
穀物バースを整備し、流通
需要への対応強化を図る。

総事業費は約108億円
を見込む。前面岸壁（水深
15㍎、延長450㍎）と北
岸壁（13㍎、250㍎）の
増設としゅんせつ、埋め立
て工事（9・9㍎）などを
行う。港湾関係者が利用す
るハーバーマスターの監視
塔も建設する。詳細設計や
施工監理をオリコンサルグ
ローバル・エコー・アンジ
エロセックJVが担当。施工
を東亜建設工業が担う。

16日に現地で行われた起

工式には、アマドゥ・コネ
運輸相やコベナン・クアシ
・アジユマニ農業・農村開
発相、藤野浩次郎国際協力
機構（JICA）コートジ
ボワール事務所長ら関係者
が出席。工事の無事完成を
祈念した。